

非行  
少年

# ずばり「親に責任」

暖かい環境とよい指導

出席者 島崎竹寅（南国署防犯少年係長） 隅田道代（婦人補導員） 吉岡真一郎（補道教員） 山崎静男（福祉教員） 坂本秀忠（農高補導専任） 西野慎男（東工補導専任） 溝淵原己（少年補導センター所長）  
〈広報委員〉 山本尚一、藤本茂樹、岡崎俊一、浜田弥芳、東村達夫

## 窃盗、交通違反が急増

### たまり場を中心に行動

「海に山に」こどもたちの解放のときがきました。この夏場は、もつとも非行の芽ばえやすいシーズンでもあります。

あなたのお子さんは、絶対大丈夫だといえるでしょうか。

この機会に、いま一度こどもの生活態度や家庭環境についてじっくり考えてみることをおすすめします。

今月は、こどもの生活指導にあたられているベテラン補導員にお集り願って、青少年の非行の現状と防止策について聞いてみました。

### 安易なあそびの延長

県下の非行少年は、四十六年、一三、一六人で、前年にくらべて二、四四八人少なくなっています。しかし、十歳以上の少年のうち九・二人に一人が非行少年として補導され、一日平均三六人が、なんらかのかたちで補導されていることになっています。

過去、六年間をみてみますと、四十四年をピークに減少の傾向をたどり、四十一年を二〇〇とした場合、四十六年は七四になっています。

ところで、非行の実態をくわしく調べてみますと、飲酒、喫煙などの不良行為は少なくなった反面、窃盗や交通違反などの犯罪を犯すものが、相変わらず多くあります。

### 〔実例〕

熊本市の教護施設を集団脱走した中学生A子（15）ら五人は、二十五日正午ごろ「どこか面白い所へ行こう」と相談し、民家一軒から現金五万円、カメラ、預金通帳などを盗み、汽車で大牟田へ。駅前のデパートでスカートを盗むのを引き「旅したく」を整えた。

二十六日は佐賀市内、そして二

十七日は神戸に着き、盗んだ金も少なくなり高砂市（兵庫県）であき果にはいり、グイヤやオパールの指輪など二十万円相当を盗んだ。同夕は、神戸の盛り場で知り合った会社員の乗用車二台に分乗市内をドライブ、車内で夜を明かした。補導されたとき五人は「学園には自由がない。金さえあれば日本中を旅行するつもりだったのに……」と話している。

（高知新聞 6月30日朝刊）

それでは、最近の特色はどんなところにあるでしょうか。

▽強盗、放火、恐嚇など悪質化していること。

▽犯罪を犯す少年のうち六八・七割は十六歳以下で、低年齢化



島崎竹寅さん

の傾向が強いこと。  
▽自動車を使っ

た集団犯罪が多くなり、広域化してきたこと。

▽たまり場をもたにして喫煙、ボンド遊びなどの行動に出ている。特にモーター、アパート、下宿などを使うものが多くなり潜在化したこと。

▽罪の意識に乏しく、あそびの延長として考えていること。

▽中流以上の家庭で、かつ両親

のそろった恵まれた家庭に多いこと。  
このような大きな特色があります。

### 被害者が加害者に

ところで、南国市の補導件数は四十四年、四十六件、四十五年、一三〇件、四十六年、二七六件となっています。

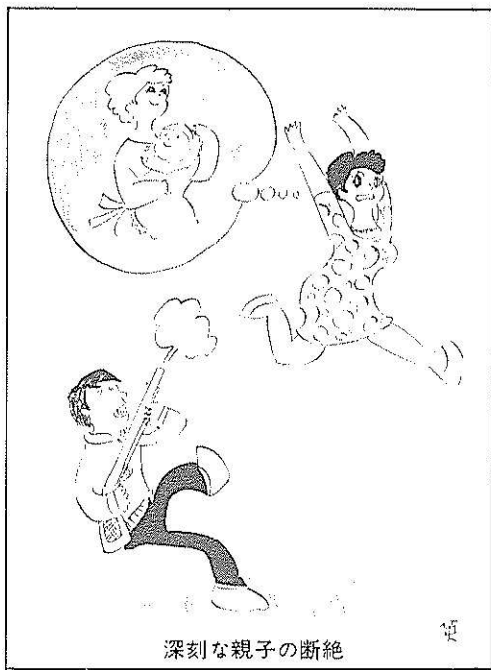
では、補導の実態はどのようなになっているでしょうか。

▽ボンドは、今まで常習者が町の中で、おっぱひらにやっていたのがモーターなどに潜在し、数人的には表面に出なくなりましたね。

ボンドそのものよりも、ボンドから起る二次的なもの。車を運転する、男女関係など、これに付随する問題が多くなっています。

▽家出ししても、家庭でしかられな、悩みごとがあるということではなく、あそびの延長として、友だちにさそわれて、フラットという例が多いですね。

▽高校生では、アルバイトができるので、二、三万円の車は親にわけてボンボン買ってもらって、また、おばあちゃんにねだって、三十数万円もする七半（七五〇cc）のモーターを買っていた生徒もあ



深刻な親子の断絶

「断絶」という言葉がよく使われます。ひとは親と子のものの考え方に大きなひらきがあり、代とのちがいが、同じ二十代でも三歳の年齢の差で、ずいぶんも

山崎静男さん

は、三十代と二十

ようなものがありました。現代では「メス」としての意識しかありません。

の考え方、うけとり方がちがっているようです。

### 連合赤軍のショック

最近では、浅間山荘の連合赤軍事件、テルアビブ空港の無差別殺害事件など、世界をあらとさせた事件があいつぎ、子をもつ親たちへのショックは大きなものがありました。

の母親の影響から、なんとかしてのがたい、という気持ちで強く働いていた。

## 無関心・無理解・放任

「母はボクが小さいときからは、いいモノをなんでも買ってくれた。でも、いつも、あなたのほしいモノをあげるんだから、おとなしく勉強してね」とか、遊びにいかないでね」とか、いろいろ条件をつけた。まるで物々交換のようだった。そのうちボクは、母の条件がついてないモノがはしくなった。だから恐ろしくなってきたのだ。」

(主婦と生活 45年6月号)

「非行少年に共通なものは」と問われれば「ずばり、親が悪い」



坂本秀忠さん

「子どもに対する親の期待感。また、経済的な欲望をみたしてやっ

「金なん

か何

という。

た、

経済

的

な

欲

望

を

み

た

し

て

や

っ

た、

経済

と関係者はいいいます。現在のマスコミが悪い、有害環境がどうのということでなく、保護者が無関心、無理解、放任主義である家庭の少年がほとんどだとい

社会的に責任を転嫁すれば、現代の少年みんなが非行化してくるわけ。しかし、健全に育っている少年がほとんどであることも事実です。

### 持っているだけでも処罪

8月からシンナー、ボンドなど  
ボンドなどをみだりに摂取したり、吸入する目的で持っている……3万円以下の罰金、摂取、吸入する目的で持つことを知りながら、販売、授与したものは……2年以下の懲役または5万円以下の罰金

大田 電話③3151  
南国警察署

### 家庭相談室へどうぞ

家庭の事情で養育の困難な児童を虐待されていることも、親の育て方、子どもの不自由なことも、児童、ろう児、学校を休んだり、不良化した子ども、その他、しつけや性格のご相談に応じています。

家庭相談室 福祉事務所内  
電話③2111

### ミニ広報

出生届は1通ですが、本籍地以外で届けるときは2通必要です。

## 深刻な親子の断絶



少年をとりまく有害環境

保護者の無理解という大きな力もあり、このことは後述で述べることにして……



隅田道代さん

世はま

通戦争

といわれ

昨年一年

間では

南国管内で

五二九件の交

通事故があり、

二十人の人がな

くなって

います。

最近、

青少年のなかで

流行して

いるジグザグ運

転をしたり、百

以上の猛スピードで

走り回ると、

通称「サーキット族」

の横暴には

目をおおもの

があります。

交通戦争のなかで

いつも弱い被

害者だった「こども」

が、こうし

て無免許、ス

ピード違反など無

運転による「加害者」

に変わっ

てい

っているのです。

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

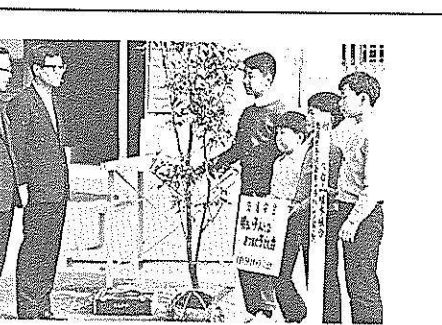
……

……

というのがあります。

有害図書指定については、時代の

むかしは便所の落書きなど、セックスをあつ



## 心をあわせて明るい社会!!

住民の力で防ごう 少年非行

- 家庭では、あたたかい対話
- 職場では、あたたかい配慮
- 街頭では、さわやかな愛情

### ミニ広報

出生届・両親の本籍地、所在地、子供の出生地のいずれでも届出できます。

て、はたして非行が起らないかというところに問題があります。

## 目を離してはダメ

### 【実例】

母親がA君の部屋を掃除していると、買ってやったことのないブレヤが置いてあった。「これはどうしたの。」「B君に借りているんだ。」「早くかえしておきなさいよ。」「それまではよかった。ところがあくる日もあくる日もB君にかえされていない。しかし、母親には「B君に借りている。」という頭があるの、そのままになっていた。

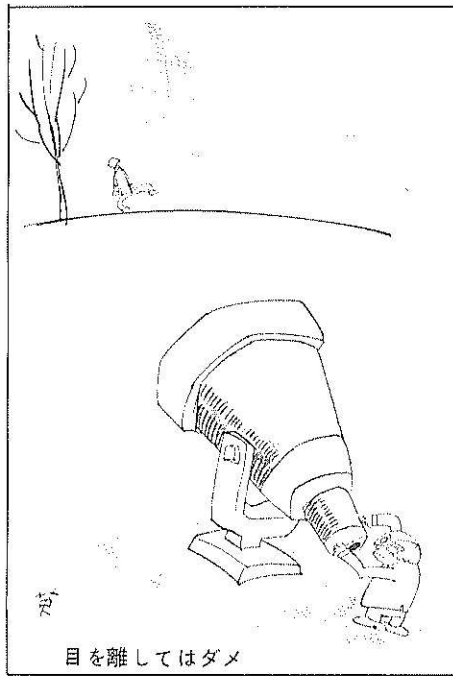
ところが、これがK市で、ブレヤ三百、レコード五十枚を盗んだものであったことがわかった。「あのときB君になぜかえさせなかったか。B君の家まで一諸に持つていったら……」



吉岡 真一郎さん

こどもには手を離しても、目を離すなどという格言がありまふ。幼児から小学校までは、手を離したらあふない。目を離してもあふない。それが精神面の発育にしたがつて、自主的な行動、合理的な判断

ができるようになる。そうするといつまでも手をにぎってはいけない。しかし、同時に目を離してしまつては駄目で、かならず目はつけておくべきであるといわれます。



目を離してはダメ

## 望まれる地域の連帯感

教育ママゴン、マイホーム主義

の無気力なおやじ、こどものことについては、一見知っている風実は何んにも知らない親。しかしこどもは実にくわしく親の日常の態度を見ているものではないだろうか。心の中にわだかまっていた不満が、非行への道をたどつているとはいえないだろうか。

この家族も、こどもが大きくなるにつれ、対話の場が薄れてしまつていくのである。非行を防ぐには、早期発見、早期治療が一番大切になってきます。補導するより、まず、そのよう

なこどもを出さないことが大切です。このこどもでも注意しあえる社会連帯感が重要です。

▼よその子が悪いことをしていても注意しない、注意を受けても、「うちの子にいらんことをいってくれるな」と逆うらみをくらうことがあります。

親切にいつてくれたら、感謝の気持ちで、すなおにうけ入れて、わが子に注意してやるだけのおうような気持がほしいものです。▼家庭訪問でも、赤裸々に相談し

てくれる人と、かくして話したがない人があります。あつさり話してもらつと、私たちも手が出しやすいのですが……。



溝渕原 己さん

▼「どうもうちの子はおかしい。」と思うときは、すぐ補導センターか、学校の先生に相談することです。

▼もし、うちの子の悪いところが知られると困るという親の気持が早期発見、早期治療をおくらせている原因の一つになっています。

「社会を明るくする運動」は、「住民参加による青少年の非行化防止」を重点目標にしています。青少年を非行にしむける温床をつくらないことが、まず先行されるべきですが、市民ぐるみの連帯感と風俗営業者などの理解、そして個々の家庭の保護者の努力で、未然に防いでいきたいものです。

## 三 お子さんのことならどんなことでも三

少年の非行について、少年をとりまく地域の問題など、お気軽にー



南国市少年補導センター  
下野田 163-1 番地  
電話(公社) ④2504  
(有線) 4240